文部科学省選定作品　厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財　助成：文化芸術振興費補助金　〔社〕企業メセナ協議会認定

槙坪夛鶴子 第七回作品

代表作「老親ろうしん」,「母のいる場所」

星の国からようこそ あなたに会えてよかった

監修
市川宏伸　都立小児総合医療センター顧問
星山麻木　明星大学教育学部教育学科教授

原作　門野　晴子

『星の国から孫ふたり』
『ギフティッド・チャイルド』

脚本 下島三重子

子役
小野貴琉（たける）
小野駿希（としき）
上野楓恋（かれん）

療育とは・・・ 無条件に可愛がり、愛すること・・・

星の国から孫ふたり

～「自閉症」児の贈りもの～

G 映倫

劇映画　35mm　1時間 35分

出演　馬渕晴子　加藤 忍　比留間由哲　乾 貴美子

馬渕晴子　比留間由哲　加藤 忍　乾 貴美子　ミョンジュ　小笠原町子　阿知波悟美　米倉斉加年　小林桂樹　紺野美沙子

きゃんひとみ　向井修　伊藤ゆきえ　＜友情出演＞　小林桂樹　紺野美沙子　米倉斉加年　＜特別出演＞　アフリカンダンス：柳田知子　人形劇：木島知草

製作：光永憲之　撮影：伊藤嘉宏　照明：林和義　録音：高木創　音楽：光永龍太郎　編集：西尾光男　VE：青木伸二　美術：和田洋　現像所：株式会社MAGICA　録音スタジオ / 整音 / 効果：東京テレビセンター

協力　世田谷区教育委員会　UR 都市機構　早稲田大学　武蔵野幼稚園　下高井戸商店街振興組合　北野高校同窓生 71 期有志　(有)むらもと治療センター　東京都立梅ヶ丘病院　伊勢原市やはたウィメンズクリニック

製作：『星の国から孫ふたり』製作委員会　企画制作 パオ(有)　www.pao-jp.com　〒156-0044　東京都世田谷区赤堤2-43-13-531　TEL.03(3327)3150　FAX.03(5376)8462

監督 槙坪夛鶴子

代表作「老親ろうしん」「母のいる場所」
自立と共生をテーマに7作品を製作・監督

人は地域の中で、様々な人とふれ合い、支え合える環境があれば、障害があるなしに関係なく、"その人らしく生きること、成長つづけることが、夢ではない"と信じています。

この映画は、全国各地からの多くの方々のご支援、ご協力で完成しました。 感謝申し上げます。

星の国から孫ふたり

～「自閉症」児の贈りもの～

原作 門野 晴子

『星の国から孫ふたり』ーバークレーで育つ「自閉症」児ー
『ギフティッド・チャイルド』～「自閉症」児からの贈りもの～

重い障がいを生きる槙坪監督が、拙著の「星の国から孫ふたり」を映画化するのがとてもうれしい。いわゆる障がいものには絶対ならない監督の人間観が、「面白くて可愛い不思議な生きもの」に映像の息吹を与える楽しみ。

実際の私の孫たちは米・バークレー市に住む日米ミックスの異星人だが、映画では日本人に置き替えたことでよりリアリティを帯びた。

不思議ないのちがありのままの個性としてこの国に受容される日まで、私も監督もはたして生きていられるや否や？

ものがたり

作家の太田弓子（馬渕晴子）はバークレーから帰国した娘の陽子（加藤忍）、その夫の敏夫（比留間由哲）、３歳になる孫のかおると久しぶりに再会した。だが、かおるは、まだおむつも取れず、「プーラペン …… デュワイン！」とまるで宇宙語のような言葉を発し、医者に診てもらうと「自閉症の疑いがある」との診断。仕事人間の夫は、「子育てに問題があるのでは」と陽子を責める ……。

一方、弓子は「自閉症って不思議がいっぱい」と前向きに日々のかおるの成長を見守る。そこに、バークレーから、発達障害の専門家・村井ひとみ（乾貴美子）が訪れ、「アメリカでの積極的な自閉症（オーティズム）への早期発見、早期療育の取り組みは人々が勝ち取ってきた」と語る。弓子の息子・拓也（ミョンジュ）は、ひとみとスカイプで交信しながら発達障害の専門家になる勉強を始める。そんな時、妹のらんも自閉症だと認定されてしまう。再びゆれる家族 ……。

らんは、幼稚園に、かおるは小学校の特別支援学級に入学する。かおるはそこで母をなくし心を閉ざしたマリアと出会う。「自分本位と言われている自閉症のかおるがマリアを想って泣いた！」かおるの初恋だと喜ぶ陽子達。「みんなに、もっと、かおるとらんのこと、自閉症について知ってもらおう」と弓子達は地域の人たちへ支援の輪を広げるために街に出る。

監修 星山麻木

明星大学教育学部教育学科 教授

映画「星の国から孫ふたり」は、自閉症という見た目にはわかりにくい違いのある子ども達を、懸命に育てているご家族の視点から理解を深める、心温まる映画です。

障がいのある方にも、優しく暮らせる社会は、誰にとっても豊かな社会です。日本には、無意識のうちに同じもの、同じ生き方を求める文化があります。しかし本来、人それぞれの違いや良さを発見し、認め合うことが大切です。

子どもに関わるすべての方に、ぜひ一度見ていただきたい映画です。

監修 市川宏伸

都立小児総合医療センター顧問

何年かぶりに帰国した娘は、コミュニケーションが難しい孫と一緒であった。続いて生まれてきた妹も自閉症を疑われた。

この映画に登場する人々は戸惑いつつも、孫を「星の国からの贈りもの」ととらえ、自閉症を肯定的にとらえている。同年齢の子どもと比較して「何処が違っているか？」ではなく、「その子どもに目を向け、何処がよくなったか？」に着目することは重要なことである。

この映画は自閉症の特徴をうまく表現して、あるべき支援の仕方を提示している点で、ぜひ鑑賞して欲しい作品である。

製作 『星の国から孫ふたり』 製作委員会

企画制作 パオ（有）
www.pao-jp.com
〒156-0044 東京都世田谷区赤堤2-43-13-531
TEL.03(3327)3150 FAX.03(5376)8462